

サービス自己評価表

多機能型事業所ひまわり コパンの杜北22

1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	いいえ
現在、物理的にスペースが狭い中、怪我の防止のため、運動課題の際にマットを設置するなど工夫をしています。次年度から、小学生以上の支援も1グループ5名の目的別グループ運営としますので、活動のしやすさに繋がると考えています。		
2	職員の配置数は適切であるか	はい
通常の人数は基準を満たすものになっていますが。感染予防の観点より、職員のお休みが重なり、出勤人数が減ってしまうような場合には、記録のお渡しを後日にさせていただいたり、活動内容を柔軟に変更するなどして対応しています。		
3	事業所の設備等についてバリアフリー化の配慮が適切になされているか	いいえ
段差はありませんが、トイレ・手洗い場のスペースが狭いため、年齢の低いお子さんのオムツ交換での順番待ちをする場面があります。		
4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	はい
目標設定と反省の場は設けていますが、送迎や休みで不在の職員がいた際に、全職員に伝わる工夫をして伝達しています。		
5	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	はい
評価結果を見ることで、各職員、保護者様のご意向を知るきっかけになりました。		
6	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	はい
実施しております。		
7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	はい
第三者による外部評価は現在は実施しておりません。		

8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	はい
毎月、事業所内研修を実施しており、全員が参加するよう体制を整えております。		
9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	はい
作業療法士中心にお子さんの発達の状態について客観的な評価を行い、それをもとに支援内容を検討するようにしています。		
10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	はい
各種評価・検査を実施しております。		
11	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	はい
各お子さんの個別支援計画書を作成する際には、職員で話し合い、お子さんに適した目標・支援内容となるよう心がけています。		
12	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	はい
半年に一回の個別支援計画書の更新の際に、半年で十分に取り組めなかった項目があったと気づくこともありますので、こまめに目標に沿った支援を展開できているか意識して振り返るように心がけております。		
13	活動プログラムの立案をチームで行っているか	はい
職員全員がそろって活動プログラムを立案することは難しいですが、参加できる職員（作業療法士・保育士）で時間をかけてプログラム立案を行っています。		
14	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	はい
お子さんが楽しく、飽きずに取り組めるよう、職員でアイディアを出し合いながらプログラムを検討できていると思います。		
15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	はい
お子さんに合わせて、個別活動と集団活動を組み合わせています。個別活動を行う際の環境設定については配慮しています。		
16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	はい
朝礼の際に、当日の流れの確認、職員の配置、個別配慮が必要なお子さんへの対応方法など話し合われています。		

17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	はい
限られた時間内で、子どもたちの気になる様子、職員の動き方、課題設定が適切であったかどうかなどを振り返り、それを踏まえてその日は職員がどう動くとよいか、活動をどのように展開するとよいかの話し合いをしています。		
18	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	はい
毎回の支援の記録は細かく記載するようにしております、各お子さんの個別支援計画書の作成やモニタリングに役立てています。		
19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	はい
半年に1回モニタリングを必ず実施し、保護者様にお時間をいただいて面談を実施し、目標の振り返りや新たな目標の確認を行っています。		
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	はい
児童発達支援管理責任者、お子さんの参加曜日のプログラムの進行係の職員、作業療法士が参加するように会議を開催しており、色々な目線から話し合いが出来るようにしています。		
21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	はい
児童発達支援管理責任者を中心に、関係機関と連携するよう心がけています。		
22	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	はい
お電話にて連絡を取り合いながら情報共有を行っています。感染が落ち着き次第、訪問も積極的に行っていきます。		
23	小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	はい
お電話を中心に連絡を取り合い、場合によっては学校への訪問を実施し、情報共有を行っています。		
24	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	はい
年に1回、児童発達支援センターより訪問をいただき、支援内容を見学していただいたり、運営について助言をいただいております。また、動画視聴による研修などにも申し込み、職員それぞれ受講をしております。		
25	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	いいえ
当事業所を利用されているお子さんたちと、保育園児さん・幼稚園児さんが交流する機会は、設けてはいません。		

26	(自立支援) 协議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	いいえ
協議会や子育て会議などへの参加は行っておりません。		
27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	はい
連絡帳、送迎時にお子様のご様子を詳しくお伝えするよう職員一同意識しております。また、適宜お電話やメールなどで、困りごとに対するご相談にも対応させていただいております。		
28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トーニング等）の支援を行っているか	はい
保護者様からご相談があった際や、こちらが必要性を感じた際にはご家庭での取り組みをお伝えしています。ただ、すべてのご家庭に十分な実施は出来ていないため、引き続き、個別支援計画書を作成する際に、「家族支援」の項目をより詳しく実践しやすい内容の物を検討する必要があると思われます。		
29	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	はい
ご契約時に、保護者様への説明をさせていただいております。		
30	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	はい
個別支援計画書の説明の際に、内容についてご質問・不明点がないかをお尋ねし、ご同意頂けるかの確認を行っております。		
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	はい
送迎時や連絡帳・お電話等でご相談をお受けした際には、アドバイスや解決方法などお伝えしたり、保護者様と一緒に考える時間を設けるようにしております。		
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	はい
先日の保護者向けの勉強会の中で悩み相談できる場面もありましたが、当事業所での保護者会というものは実施できません。今後、感染状況を鑑みつつ、実施出来るように話し合いを行っていきます。		
33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	はい
利用者や保護者のニーズを聞き入れて、報告や相談をおこなって真摯に対応しています。		

34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	はい
----	---	----

お便りは月1回発行し、保護者に向けて発信させていただいております。

35	個人情報の取扱いに十分注意しているか	はい
----	--------------------	----

職員皆さんの意識も高く、個人情報の取り扱いはしっかり出来ています。

36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	はい
----	--------------------------------------	----

会議や反省を通してそれぞれの情報を整理して、保護者との情報の共有化を行っています。

37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	いいえ
----	-------------------------------------	-----

事業所の支援内容として、地域を巻き込んだ行事の開催はしておりません。

38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	はい
----	--	----

研修や訓練を通して、情報の共有を図ることが出来ています。

39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	はい
----	-------------------------------------	----

研修や訓練を通して、情報の共有化を図ることが出来ています。

40	事前に、予防接種やてんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	はい
----	---------------------------------	----

確認出来ています。職員が新たに入職された時などの確認が遅れないように、全職員で定期的に周知していきたいと思います。

41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	はい
----	---------------------------------------	----

食事の提供、おやつの提供がありませんが、年度の初めに、保護者より、アレルギーについての申告をいただき、把握しております。

42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	はい
----	----------------------------	----

ヒヤリハットの報告や事例を共有しています。また、当事業所のヒヤリハットの報告書集を作成し、全職員が確認をしています。

43	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	はい
年に1回、コパンの社3事業所合同の研修を行っています。また、役職者が各事業所を訪問しながら、不適切な支援がないかどうか、確認をしています。また、対応に困るケースは事例検討として取り上げ、他事業所からも意見をもらうなどしております。		
44	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	はい
身体拘束を行うケースのお子さんがいなかったため、組織的に話し合い、決定するということはありませんでした。今後、必要性のあるお子さんがいた場合には、組織で話し合いをし、保護者様へのご説明や計画書への記載を行っていきます。		